



ない。ただし、MARACメンバーはそのような開示には十分な注意を払い、目的のためにこの開示が厳に必要であること（上記 5 を参照）、および情報開示が当該目的に必要な範囲に制限されることをあらかじめ確認し、その際 MARAC の枠組み外への開示について考える場合は厳格な管理が適切であることを考えておく。

コモンローの守秘義務

問 5 に同じ。

カルディコット指針

問 5 に同じ。

11. 被害者または加害者が別の地域に引っ越した場合、案件を別の MARAC に照会できる？

はい。上記 2 に示した原則に従う。

照会側 MARAC の初回の開示では、被害者・加害者の氏名と彼らが MARAC の検討対象になっていることしか開示できない。後日、受領側 MARAC が新地域での事件や観察の結果個別案件を検討する必要があると考えた場合、照会側 MARAC に対して追加情報を要望できる。照会側 MARAC は開示できるかどうか判断し、開示理由、どの情報を開示するか、および開示情報にかけられる使用制限を文書に記録する。

12. 情報開示の判断は会議前に下す必要があるか？

いいえ。情報に関連性があるかどうかは MARAC 会議で別の情報が開示されない限り明らかにはならないこともある。例えば、

- (a) ある女性が 1 回以上妊娠中絶を行っていたかもしれない。これは一見関連性がないように見えるが、彼女が強姦されたと考えられると会議で公表される場合がある。タイミングが一致すれば、中絶について情報開示する判断が下されるかもしれない。
- (b) 被害者が A&E を 1 回以上訪れている。この訪問が家庭内のもめ事で警察が来た時と一致することが分かった場合、関連情報になる可能性がある。

13. 情報開示の判断は文書に記録すべき？

はい。情報の共有に関して下された判断はすべて適切に記録することが重要である。

- (a) 開示の判断の根拠
- (b) 開示の範囲（必要最小限に限るべき）
- (c) 開示情報の使用可能範囲

14. 開示してよいかどうか疑問がある場合、どうすればよいか？

開示してよいかどうか疑問がある場合は、あなたの所属団体の中で情報機密を担当する上長に助言を求めるべきである。必要に応じて、外部から法律に関する助言を受ける。場合によっては、関連性を判断できない情報を持って会議に参加し、会議で他の機関からの情報（例えば被害者が現地病院の救急救命科に来た日など）を聞いてから判断することもできる。この場合、当該情報を他の MARAC 機関に開示するかどうか、またなぜ開示するのか、その会議の中で判断する。CAADA は、何を誰に開示すべきか判断しやすいように、簡単な判断記録用フォームを公開している（www.caada.org.uk を参照）。

15. 情報はいつまで保持できるのか？

MARAC 会議に出席した機関は、被害者や子供へのリスクがある限り、関連情報を保持できる。保持される情報は認識されているリスクに見合ったものでなければならない。

MARAC 会議に出席した機関は、6 ヶ月後または 12 ヶ月後に案件の初回記録を査読して、当該情報の一部または全部がまだ関連性があるものとして保持すべきかどうか判断するとよい。

2007 年 9 月 25 日

家庭内暴力独立アドバイザー（IDVA） － MARAC 用ツールキット

もくじ

1. よくある質問
2. フローチャート：MARAC プロセスの手順、MARAC の調査・照会プロセスの追跡
3. CAADA 提供のフォーム：リスク評価チェックリスト（RIC）、照会フォーム・調査フォーム

多機関リスクアセスメント会議（MARAC）とは何ですか？

MARAC は、最高リスクの家庭内暴力に関して、地元警察、保護観察機関、健康機関、児童保護機関、主治医、家庭内暴力独立アドバイザー（IDVA）など、公的機関とボランティア部門からの専門家が、互いに情報を共有し合うための会議です。被害者に関する情報をすべて共有してから、代表者達は被害者をより安全にする選択肢を議論し、それらを協調的行動計画にまとめます。MARAC の主眼は成人被害者を守ることです。また、MARAC は子供を保護したり、加害者の行動を管理したりする他の会議とも連携します。MARAC の中心は、1つの機関または1人では、被害者の生活の全体像を描くことはできないが、1人1人はみな被害者の安全に不可欠な洞察を持っている可能性がある、という前提です。被害者は会議には参加しませんが、IDVA が代表として彼らの声を代弁します。

MARAC と IDVA

MARAC では、あなたの支援する高リスクの被害者がすべての機関・組織の協調的努力によってこれ以上の虐待から確実に守れるようにお手伝いをします。MARAC における IDVA の役割は、会議で被害者の見解を代表し、可能ならば被害者とパートナー機関との連絡を仲介し、安全計画の安全性をよりいっそう確かなものにする事です。IDVA は普段は案件管理を担当します。MARAC は高リスク被害者が現地のリソースにアクセスしやすいようにして、あなた方が現地機関と関係を構築するお手伝いをし、あなたの仕事の核心である被害者との安全計画作成の効果を高めます。

MARAC 代表者のツールキットを参照したい方は、

<http://www.caada.org.uk/marac/Toolkit-MARAC-representative.pdf> に、MARAC プロセスが詳しく解説されています。

「MARAC は他の機関が持っている有益な情報を提供してくれます。こうした情報は被害者やその子供にどの程度リスクがあるのか、正確に判断するのに役立ちますので、より効果的な安全計画が作成できるようになります」
－ IDVA サービスマネージャー、ダービー

1. よくある質問

なぜ私の所属機関から代表者が参加しているのですか？

MARAC では、あなたは地域の協調的対応における被害者の見解を代弁できる他、パートナー機関からリソースが的確に提供されるよう手配することができます。MARAC におけるこうした提携作業や効率的・効果的な情報共有は、会議がなければ実現できません。そのため、あなた方が会議に参加して家庭内暴力について専門家としての意見を述べ、あなたの持つ最新情報を共有し、被害者と MARAC 機関とをつなげる役割を果たすことが決定的に重要です。

どのような案件が議論されるのですか？

MARAC では、もっともリスクの高い家庭内暴力の案件が話し合われます。そのような案件は、機関に所属する医師が、証拠に基づくリスクアセスメントツール（CAADA 推奨のリスク評価チェックリストについては 11 ページを参照）を用いて発見したものです。リスクの概要に関しては、最初は地域で発生している案件のトップ 10% を MARAC に持ち込むことを推奨します。これにはいわゆる「名誉」を理由とする暴力を含めて拡大家族での暴力の案件も含まれることがあります。

私の所属機関からどのような情報を持ち込むべきでしょうか？

IDVA からは、MARAC で安全かつ効果的なリスク管理計画を作成するのに役立つ、被害者からの関連情報を提供してください。具体的には、リスクのレベル、被害者支援へのアクセスの障壁、被害者の要望（例えば

地域内で新しい住処が欲しいなど)、今後の面会予定や以前のコンタクトの内容などに関する情報です。基本的に被害者は IDVA に対して虐待についてどの機関よりも詳しく話しています。クライアントの要望がクライアントの安全確保と競合するような場合に IDVA は情報開示について難しい判断を迫られます。そのため、IDVA が会議に参加して行動計画をできる限り安全なものにすることが不可欠です。

私達はどのような行動が提案できますか？

通常、IDVA が提案する行動はすでに被害者で行った作業を反映します。具体的には、危機において被害者を支援すること、選択肢を話し合うこと、刑事・民事訴訟で支援すること、住居の選択肢について支援すること、被害者とリスクアセスメントと安全計画作成に取り組むこと、および他の機関に対して指針を与えることなどです。さらに、他の機関と連携して何らかの活動を起こすこともできます。

同意がない場合に情報を共有するための法的根拠は何ですか？

MARAC への情報開示はデータ保護法と人権法の下で行われます。情報開示は、犯罪防止、被害者の健康・安全確保、および暴力の被害者やその子供の権利や自由を守ることに必要な場合には可能です。情報開示は特定個人または家族にかかる危害のリスクの度合いに応じたものでなければなりません。MARAC での情報開示に関して詳しくは、情報開示に関する FAQ を参照してください

(http://www.caada.org.uk/marac/Disclosure_of_Info_at_MARAC_FAQs.pdf)。MARAC の基礎となる原則は、リスクの限界値が非常に高く設定されているので、被害者から情報を共有するのに同意は法的には不要である、ということです。実際には、このプロセスで被害者から支持を得られると、ほとんどの場合よりよい結果が出ます。

被害者は、自分の案件が MARAC で検討されていることを知る必要がありますか？

あなたがクライアントと MARAC について話し合うには、どうしても安全かどうか、または被害者や他の人により大きなリスクをもたらす結果になるかどうか重要です。実際には、MARAC の前に被害者とコンタクトを取り、現在の状況と被害者の要望について情報を集めることが望まれます。

このツールキットの最後に、現地の MARAC 代表者の詳細について書き込める欄があります。

その他の MARAC ツールキットやリソース

あなた、もしくはあなたと同じ組織の同僚が MARAC 会議に出席する場合は、**MARAC 代表者用ツールキット** (<http://www.caada.org.uk/marac/Toolkit-MARAC-representative.pdf>) をダウンロードしてください。この文書は MARAC プロセス全体で実際に発生する問題の対処法を示したものとして重要です。

また、現場医師用ツールキットもあります

(http://www.caada.org.uk/marac/Resources_for_people_who_refer_to_MARAC.html)。これらは専門家としての役割の中で MARAC というものを実際の形で紹介しています。必要に応じて、同僚や他の機関のスタッフにこうしたツールキットがあることを知らせてください。

A&E

救急サービス

BAMER 向けサービス

児童・青少年サービス

薬物・アルコール

教育

消防救助隊

家族介入サービス

巡回保健医・保健室医・コミュニティ助産婦

住居

家庭内暴力独立アドバイザー

LGBT サービス

MARAC 議長

MARAC 調整役

成人精神衛生サービス

警察官

保護観察官

成人向け社会医療サービス

対性暴力サービス

対家庭内暴力専門サービス

被害者支援

女性安全局

多機関リスクアセスメント会議 (MARAC) について追加情報や資料をお求めの方は、

http://www.caada.org.uk/marac/10_Principles_Oct_2011_full.doc を参照してください。この文書は MARAC プロセスの指針であり、MARAC 品質保証プロセスと MARAC の国内基準を構成します。

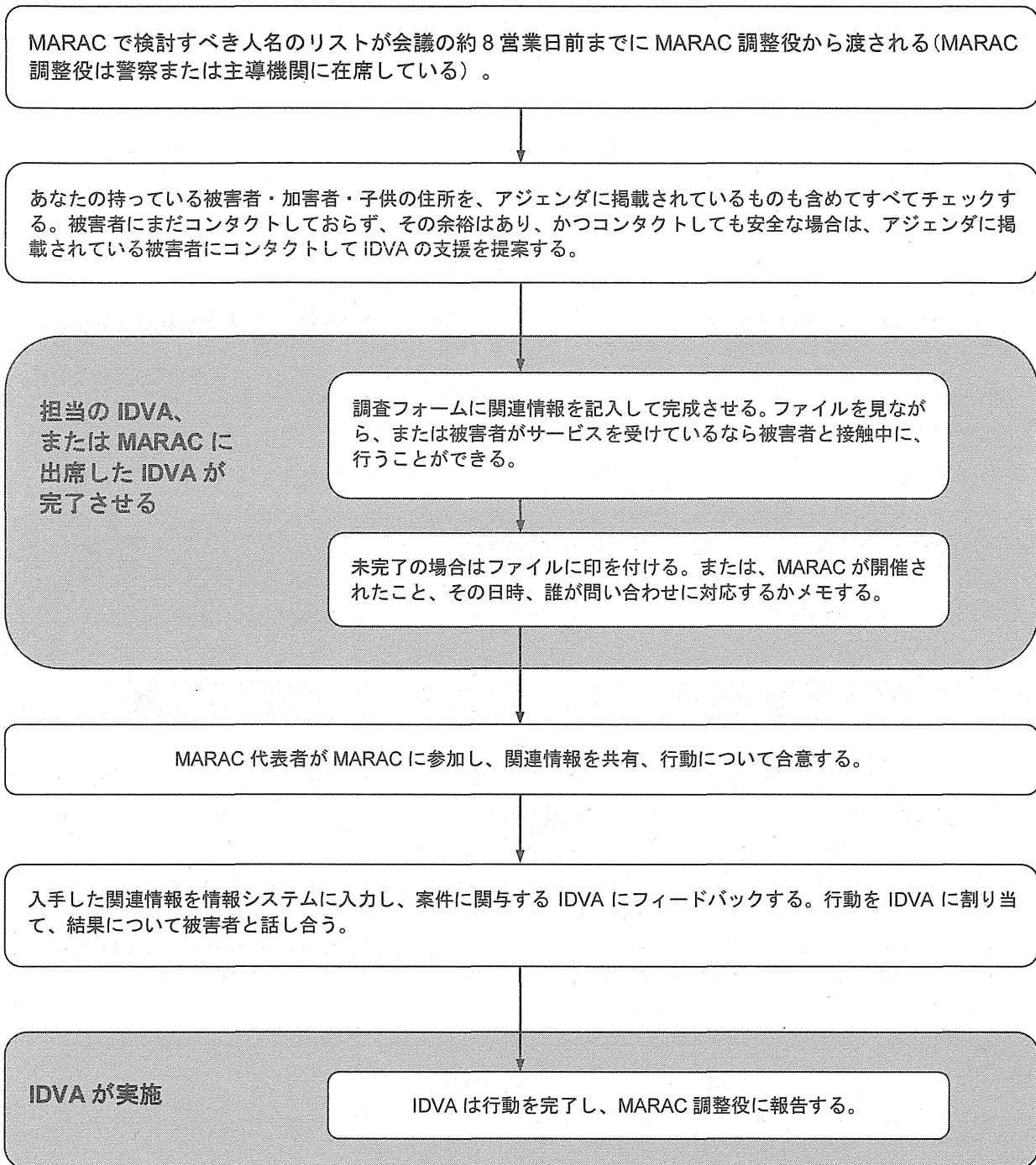
2. フローチャート

MARAC プロセスの手順

ステップ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・発見 ・MARAC 機関が家庭内暴力被害者を発見するシステムを備えていること ・多くの行政はサービス利用者全員に適合する通常問い合わせフォームを持っている
ステップ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク査定 ・家庭内暴力を受けていると特定されたら、CAADA-DASH リスク評価チェックリスト (RIC) で被害者の危害を受けるリスクが高いかどうか判定する ・被害者、子供、加害者に対して当面の安全措置を講じる。警察は対象者防御強化を実施する。児童保護機関は子供の安全を守る措置を講じる。 ・リスクが高い場合は IDVA サービスに照会する
ステップ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・照会 ・案件を発見した機関は照会フォームを作成して MARAC 調整役に送付する ・照会がなされたと同僚に報告 ・IDVA サービスは被害者に接触して支援を提案し、主なリスクと恐怖の対象を特定
ステップ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・全機関は MARAC アジェンダを調整役から受け取る ・全機関がアジェンダの全案件を調査する ・同僚に情報を求め、会議の目的を説明する ・IDVA は被害者や MARAC に代表を送っていない機関から虐待に関する背景情報を集める
ステップ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・会議と情報共有 ・MARAC 参加者が機関の照会について会議で発表する ・機関の関与する案件に関して情報を提示する ・被害者、子供、加害者および機関スタッフのリスクを特定する ・IDVA サービスは被害者の代理として情報を提示する
ステップ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画 ・自分の機関を代表して自発的に行動を取り、安全性を高めるためになしうることを提案する ・行動が SMART であることを確認する ・他の機関と協力できる可能性を見出す ・IDVA サービスは提案された行動が可能な限り安全であることを確認する
ステップ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ ・参加者は同僚に行動を伝え、時間内に完了する ・MARAC 調整役に行動がいつ完了するか確認する ・関連情報を IDVA に報告する ・IDVA サービスは安全な場合に被害者に対して計画を知らせる ・IDVA サービスはパートナー機関と連絡を取りながら行動計画を調整する

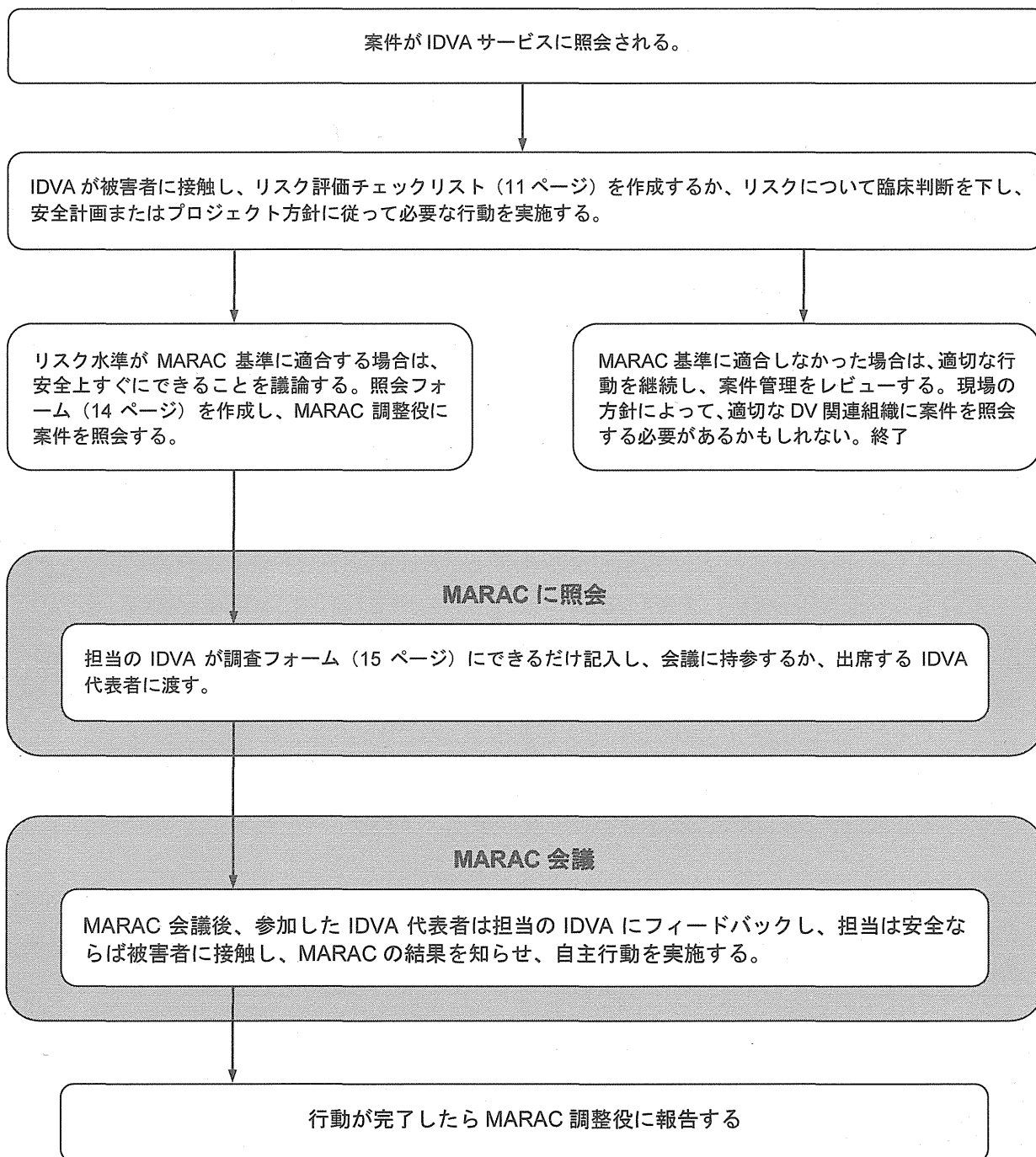
MARAC の調査

実際の方法は現地の方針や組織構成によって変わりますが、以下に MARAC の調査プロセスの概略を示します。白のセルは MARAC 代表者が実施すべきものです。



案件の MARAC への照会

所定の MARAC に照会する際の方針も設定できますが、ここではプロセスの概略を示します。



3. リスク評価チェックリスト (RIC) のガイダンス

家庭内暴力、ストーキングおよび「名誉」を理由とする暴力の CAADA リスク評価チェックリスト (RIC) とクイックスタートガイド

あなたは専門家として家庭内暴力の被害者の問題に取り組んでいるため、このチェックリストを見ることができます。このメモはチェックリストの質問の意義を理解してもらうためのものです。家庭内暴力は色々な形態がありますが、恋人や夫婦などの親密な関係において、男性から女性へ振られるのが普通です。このチェックリストはレズビアン、ゲイ、バイセクシャルの関係にも、「名誉」を理由とする暴力や家族内暴力にも適用できます。家庭内暴力には、身体的虐待、感情的虐待、精神的虐待、性的虐待および金銭的虐待があり、ストーキングや嫌がらせも含まれます。被害者が受ける暴力は1種類の場合も、すべての場合もあります。状況はそれぞれ固有です。これは脅しになり得る行動の組み合わせです。関係が続いているときだけでなく、終了した後にも起こりえます。

- ✓ RICの目的は、成人の家庭内暴力被害者を診察する医師に一定のシンプルなツールとして、危害を受けるリスクの高い人を特定し、どの人をMARAC会議に照会してリスクを管理すべきか判断する際の助力となることです。子供へのリスクの懸念がある場合は、子供達の安全と福祉がすべて査定されるよう照会する必要があります。
- ✓ RICは各機関の枠組みの中で被害者に提示します。
 - 機密保持方針
 - 情報共有方針・規約
 - MARAC照会方針・規約
- ✓ RICで質問を始める前に次のことをします。
 - 被害者が何時間一緒に話す必要があるか、今話しても安全か、安全な連絡先の詳細も決めます
 - 加害者と子供の居場所を把握します。
 - なぜこの質問をするのか、またMARACとの関係を説明します。
- ✓ RICで質問をしている間は、
 - 被害者が誰におびえているか早く把握します（以前のパートナー、パートナー、家族など）
 - （以前の）パートナーなど、性的に中性的な言葉を使います。安全でアクセスしやすい環境を作ることで、サービスを利用するLGBTの被害者が虐待と自分たちの性的指向や性的同一性を公開する気になります。
- ✓ RICの結果を被害者に開示します。深刻な危害や殺人のリスクが高いと聞かされるのは恐ろしいし打ちのめされる気になるかも知れません。重要なことは、質問への回答と自分の専門的知識を駆使して、その人の問題は何か説明することです。そして、MARACや児童サービスに照会する場合は、地域の規約に従うことが大切です。同時に、現在の状況でそれほどリスクが高くない場合でも、自分の状況が過小評価されていると本人に思わせないように、慎重に管理して、助けを求めることが恥ずかしいと思わせないようにします。これらの要素は殺人や深刻な危害にリンクしていることを説明し、将来それらを経験したら、差し迫った危機として、もう一度サービスに連絡を取るか、999の緊急サービスに問い合わせるようにと説明します。
- ✓ どんなケースでも、医師の専門的判断を尊重してください。チェックリストの結果は決定的なリスクアセスメントとはなりません。チェックリストはあなたの判断を知らせるための枠組みで、MARACなどの仕組みの中でさらに深い質問、分析およびリスク管理を促すものとして使われます。現地の照会基準を明確化する責任は現地のMARACにあります。
- ✓ リソース。自分の所属団体内と他の組織の両方で、自分が提案できる安全計画作成方法を認識していることを確認してください。専門サービスも含めて、被害者を照会できる現地および国内の機関を知っておいてください。次のウェブサイトと問い合わせ先が便利です。
 - ✓ 国内家庭内暴力ホットライン – 0808 2000 247 避難した人への住居や助言などの支援
 - ✓ 「名誉」ホットライン – 0800 5999247 – 強制結婚や「名誉」を理由とする暴力
 - ✓ 性的暴力照会センター – <http://www.rapecrisis.org.uk/Referralcentres2.php>
 - ✓ Broken Rainbow – 08452 604460 – LGBT被害者については www.broken-rainbow.org.uk に相談

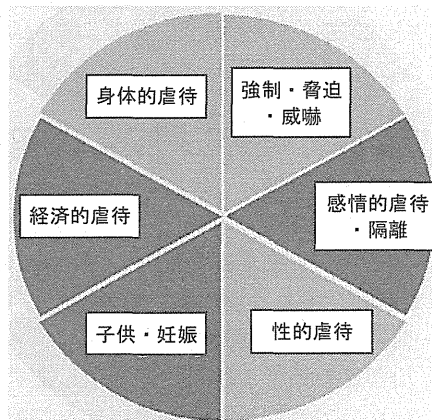
リスク評価チェックリスト・クイックスタートガイド

質問 1, 10, 11, 13, 15, 18, 19, 23 では身体的虐待について質問します。

- ✓ 身体的虐待は押すことからパンチ、武器を使った虐待、絞め、窒息など色々な形態があります。
- ✓ 虐待が悪化しているかどうか、もしくは頻度が多くなっているか、または事件自体がすでに深刻な状態かどうか判断します。クライアントにも分からない場合は、去年に何回事件が起こったか、また何が起こったか書いてもらってください。身体的虐待などがいつ起こったかを日記に記録することも被害者に検討してもらってください。
- ✓ 発生した身体的虐待の全体像を把握しようとしています。その時点で知らされた事件は起こった中で最悪のものではないかもしれません。
- ✓ 虐待は子供や兄弟姉妹、年上の親類など同居中の他の人にも及ぶ可能性があります。
- ✓ 暴力は家族のペットに向かうこともあります。
- ✓ 事件が起こった直後には、被害者は 999 番通報で警察に助けを呼ぶべきです。被害者が負傷している場合は、GP や A&E 看護師など医療専門家に状況を見せて記録してもらいましょう。

質問 16 では、被害者が何らかの性的虐待を受けたことがあるかを聞いています。

- ✓ 性的虐待は、脅すか、力づくか、または脅迫してセックスをすること、セックス中にわざと痛みを与えること、セックスと暴力を同時に行うこと、武器を使用することなどである。
- ✓ 被害者が性的虐待を受けている場合は、被害者に治療を受け、警察に報告するよう勧めます。先に紹介した性的暴力照会センターでは、医療や法的調査を受けることができます。

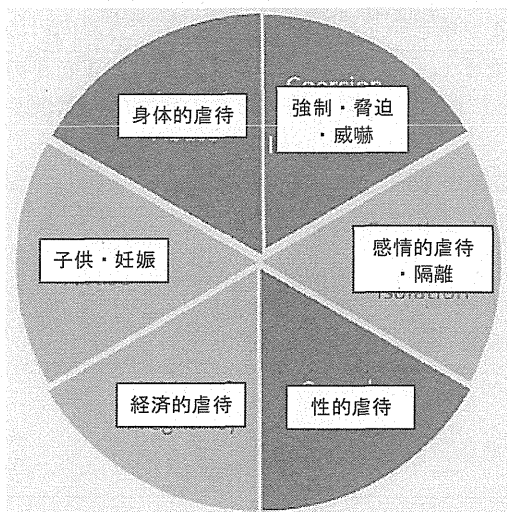


強制的脅迫・威嚇については質問 2, 3, 6, 8, 14, 17, 18, 19, 23, 24 で扱っています。

- ✓ 加害者のしそうなことに関連して被害者が何を恐れているか、被害者は誰を恐れているか、誰のために危機を感じているのか（子供、兄弟姉妹など）、などを理解し立証することが重要です。被害者は誰よりも加害者の行動を理解しており、だからこそこの質問は重要です。
- ✓ 「名誉」を理由とする暴力については、家庭または拡大家族・コミュニティなどに加害者が複数人いる可能性があります。女性の親類が加害者に加わっている場合もあります。
- ✓ ストッキングと嫌がらせは、加害者が自傷行為や被害者達への危害を加えている場合に特に重大です。彼らは「彼女は自分だけのものだ」という言い方をすることがあります。
- ✓ 将来危害を加えそうな徴候としては、偏執的に電話や手紙や電子メールを出したり、被害者宅や職場へ突然来たり、うろついたり被害者の所有物を壊したり奪ったりする行為があります。
- ✓ 被害者には日記を付けるよう勧めます。日記にはいつどこで脅迫があったか、誰か人と一緒にいたか、およびその脅迫は怖かったかどうか、記録するようにします。
- ✓ 離別は危険な時間です。被害者が加害者から離れようとしたことがあるかどうか、離れた結果脅迫されたことがあるかどうか確認してください。離別した後に追跡してくる場合は特に危険な場合があります。
- ✓ 家庭内暴力の被害者は時々加害者がペットを傷つけた、家具を壊したとすることがあり、被害者の身体的攻撃がなくても被害者は怖がります。このような脅迫はよくあることで、支配や怖がらせる方法として使われます。
- ✓ 家庭内暴力の加害者の中には、裁判所命令や子供との面会の協定に従わない場合があります。以前に破ったことがある場合、将来暴力が起こるリスクが高くなる場合があります。
- ✓ 一部の被害者は（元）パートナーの犯罪歴などにおびえていたり、それを元に脅迫されていたりします。暴力の経歴がある犯罪者は、過去の暴力が親密なパートナーや家族に直接向けられたものではなかったとしても、パートナーに危害を加えるリスクが高くなります。ただし「名誉」を理由とする暴力は例外で、加害者には犯罪歴がないのが普通です。

経済的虐待 — 質問 20

- ✓ 家庭内暴力の被害者は時々(元)パートナーから金銭的に管理されていると言う場合があります。金銭的管理が被害者にとっての安全オプションにどう影響するか検討してください。例えば、収入を(元)パートナーに頼っているか、または本来もらえるはずの所得をもらえていないかなどです。被害者は、加害者が失業したため状況が悪化するかも知れないと感じていることがあります。
- ✓ 市民相談局や現地の家庭内暴力支援専門サービスは、被害者の財務状況に応じて提供できる選択肢を説明し、もらう権利のある資金を入手する方法を示します。



子供・妊娠 — 質問 7, 9, 18 は妊娠と子供について、および子供との接触で争いがあるかどうかを扱います。

- ✓ 継子を含む子供がいると、母親が虐待を受けるリスクが高くなる場合があります。子供も暴力に巻き込まれたり、直接暴力を受けたりすることがあるかもしれません。
- ✓ 身体的暴力は妊娠中や生後数年間に初めて振るわれたり激化したりする場合があります。通常、この間には、巡回保健医や助産婦など専門家が大量関与します。彼らは被害者や子供、胎児のリスクに気付く必要があります。
- ✓ 加害者は時に子供を利用して被害者に近付こうとして、暴力事件は子供との面会時に起こることがあります。また、子供に危害が及ぶ恐れや懸念が大きくなります。
- ✓ 現地の児童保護の手順と指針を守り、児童サービスを探し、照会してください。

感情的虐待と隔離については質問 4, 5, 12 で扱います。これらは他の虐待と同時に受ける場合もあります。単独で発生することもあり、また身体的虐待よりずっと以前から始まっている場合もあります。このような虐待があると、被害者は時に自分を責めるようになり、事態を耐え忍ぶためにその深刻さを過小評価したり否定したりします。専門家として、被害者が自分と子供の直面するリスクを考え始めるように支援してください。

- ✓ 被害者は家族や友人と会うのを妨げられていたり、支援ネットワークを作ること止められていたり、お金を手に入れられないようにされたりしていることがあります。
- ✓ 「名誉」を理由とする暴力の被害者はひどく孤立していると感じ、家で「監視」されていると感じると言います。これは将来の危険を示す徴候なので真剣に受け止める必要があります。
- ✓ 虐待や隔離のせいで、被害者は加害者と生きていくしかないと感じていて、離れようとしたらどうなるかと恐れています。これは被害者の精神衛生にも悪く、憂鬱になったり自殺を考えたりするようになることもあります。
- ✓ 同時に、被害者の(元)パートナーが鬱など精神衛生に問題を抱えていて、薬物やアルコールを乱用している場合、被害者のリスクは大きくなります。こうなると被害者が機関は自分たちを理解せず、裁こうとしていると感じる場合があり、隔離のリスクが高くなります。被害者はこのような事実を話すと自分やパートナーがトラブルを抱えると思ったり、子供がいる場合は引き離されるかも知れないと怖れたりします。こうしたリスクについては質問 21, 22 で扱います。

リスク評価チェックリスト・クイックスタートガイド

家庭内暴力問題に取り組む専門家の方は、リスク評価チェックリストについてもっと詳しく知りたい時には、当機関ウェブサイトで公開されている次の出版物をご参照ください。

- ✓ **CAADA-DASH MARAC Risk Identification Checklist (RIC) 2009 for the identification of high risk cases of domestic abuse, stalking and honour based violence (CAADA-DASH MARAC の家庭内暴力・ストーキング・「名誉」を理由とする暴力の高リスク特定用のリスク評価チェックリスト (RIC) 2009 年版)**

http://www.caada.org.uk/dvservices/RIC_and_severity_of_abuse_grid_and_IDVA_practice_guidance.pdf

このガイドは、RIC が初めてで、プロセス管理に慣れて自信を持ちたい IDVA や医師の方々向けのものです。順を追ってクライアントと RIC を完成させる手順を示し、各質問をどうたずねるか、またその理由を説明しています。また、各リスク要因についてのさらに詳しい情報収集のための補完的な質問や安全計画作成のためのアドバイスも記載しています。

虐待深刻度表 (SAG) も掲載されています。SAG は医師が家庭内暴力について詳しく分析し、安全計画に関係する、または MARAC で共有すべき重大な懸念を発見できるようにするツールです。

- ✓ **CAADA-DASH Risk Identification Checklist — ガイドなし**
http://www.caada.org.uk/marac/RIC_without_guidance.doc
ダウンロードして日常業務に利用できる RIC の基本バージョンです。

- ✓ **CAADA-DASH Risk Identification Checklist — よくある質問**
http://www.caada.org.uk/marac/RIC_FAQs.pdf
チェックリストの使用に関する数々の質問に答えます。

- ✓ **現場医師のトレーニングに関するリソースや情報を次のサイトにまとめています。**
http://www.caada.org.uk/marac/Information_about_MARACs.html

4. CAADA-DASH リスク評価チェックリスト (RIC)

フォームの目的

- 現場の医師が高リスクの家庭内暴力、ストーキングまたは「名誉」を理由とする暴力の案件を発見しやすくする。
- どの案件を MARAC に照会するか、他部門の支援が必要かどうか判断する。完成されたフォームは活動の記録となり、将来の案件管理で参照できる。
- MARAC¹プロセスに参加する機関が使える共通のツールとして、家庭内暴力、ストーキングおよび「名誉」を理由とする暴力に関わるリスクの共通理解を形成する。
- 機関が家庭内殺人や「ニアミス」など、案件の詳細調査で得られた証拠をもとに防衛措置を決定する。これは広く認識されているリスクアセスメントのモデルの根拠である。

フォームの使用法

初めての場合は、このフォームを完成させる前に、このツールキット 6 ページの「家庭内暴力、ストーキングおよび「名誉」を理由とする暴力のクイックスタートガイド」を読むことをお勧めします。完全実用ガイドとよくある質問と回答は http://www.caada.org.uk/marac/RIC_for_MARAC.html からダウンロードできます。リスクは揺れ動くもので、短期間に変化することもあります。新たな案件の後にチェックリストを見直すことが有効です。

推奨される MARAC 照会基準

1. 専門家の判断：専門家が被害者の状況に深刻な懸念を抱いている場合は、MARAC に照会すべきです。案件によっては、特殊な状況の中で、被害者が高リスクを明確に示す情報を開示していない場合でも、深刻な懸念が生まれる場合があります。特に「*名誉*」を理由とする暴力においては、*極度の恐怖、開示に対する文化的障壁、移民問題や言語障壁などが関わっていることがあります*。判断は、以下の基準 2 や 3 を満たしていなくても、専門家の経験と被害者のリスク認識に基づいて行います。
2. 「*明らかな高リスク*」：チェックリストでチェックされた項目の数です。「はい」が 14 個以上チェックされた場合は、基本的に MARAC 照会基準を満たしていることとなります。
3. エスカレートの可能性：この 12 ヶ月間に家庭内暴力で被害者が警察に連絡した回数。この基準は、リストに記されたリスク要因の多くが明確にならないものの、虐待がエスカレートしていて、MARAC で情報を共有することで状況をより明確に確認した方がよいことを示すものです。12 ヶ月間に 3 回以上警察への通報があった場合に考えるのが普通ですが、回数については現地の案件数や警察への報告のレベルを考慮して見直す必要があります。

どんなケースでも、医師の専門的判断を尊重してください。チェックリストの結果は決定的なリスクアセスメントとはなりません。チェックリストはあなたの判断を知らせるための枠組みで、MARAC などの仕組みの中でさらに深い質問、分析およびリスク管理を促すものとして使われます。

現地の照会基準を明確化する責任は現地の MARAC にあります。

このフォームの対象にならないこと

このフォームは子供の直面するリスクについても有益な情報となりますが、子供のリスクアセスメントとして完全ではありません。子供がいると、家庭内暴力のリスクは拡大し、特に継子はリスクにさらされます。子供へのリスクが問題の場合は、子供の状況を完全に把握するためにどのような照会が必要か検討してください。

¹ MARAC について詳しくは、MARAC10 原則を参照してください。
http://www.caada.org.uk/marac/10_Principles_Oct_2011_full.doc

被害者名：

日付：

完成書類は機密

IDVA および警察以外の機関²が使用する CAADA-DASH リスク評価チェックリスト。家庭内暴力、「名誉」を理由とする暴力およびストーキングが発覚した場合にリスクを特定することを目的とする。

質問の目的が対象者の安全と保護のためであることを説明してください。 当てはまるものにチェックしてください。回答を説明する場合は質問票最後のコメント欄に記入してください。 主要情報源は被害者であると仮定しています。被害者でない場合は右端の列に示してください。	はい	いいえ	わからない	被害者以外の情報源（警察など）を記入
1. 最近の事件で怪我しましたか？ (どんな怪我か、最初の怪我か教えてください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2. とても怖いですか？ コメント：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3. 何が怖いですか？ さらなる傷害や暴力ですか？(加害者がするかも知れないこと、また子供も含めて誰に対してするかについてあなたの考えを示してください。) コメント：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4. 家族や友人から隔離されていると感じますか？ つまり(加害者)があなたを友人・家族・医者などの他人に会わせないようにしていますか？ コメント：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5. 落ち込んだ気分であるか、自殺を考えていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6. この1年間、(加害者)から離れている、または離れようとしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7. 子供と会うことについて争いがありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8. (加害者)は日常的にあなたにメールや電話や接触をしたり、あとを付けたりストーキングや嫌がらせをしたりしていますか？ (何をされたか、あなたを脅そうと故意に行われたと思うか、にまで拡げて考えてください。状況や行動のし方も考えてください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9. 妊娠中ですか？ あるいは最近子供を産みましたか？(18ヶ月以内に)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10. 虐待の頻度が増えていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11. 虐待はひどくなっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12. (加害者)はあなたのやることすべてを管理しようとしていますか？ 非常に嫉妬深いですか？(関係については、家でも見張られていると感じますか？ 例えばあなたの着る服を命令するなど。「名誉」を理由とする暴力を考え、行動を指摘してください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

² 注：このチェックリストは ACPO 公認の警察用リスクアセスメントモデル DASH 2009 に適合している。

被害者名：

日付：

完成書類は機密

当てはまるものにチェックしてください。回答を説明する場合は質問票最後のコメント欄に記入してください。	はい	いいえ	わからない	被害者以外の情報源を記入
13. (加害者)はあなたを攻撃するために武器や物を使ったことがありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14. (加害者)はあなたか誰かを殺すと脅したことがありますか？あなたはそれを信じましたか？(はいの場合下記にチェックしてください) あなた <input type="checkbox"/> 子供 <input type="checkbox"/> 他人() <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15. (加害者)はあなたを絞め殺そうとしたり窒息死させようとしたり溺れさせようとしたことはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16. (加害者)は性的意味のあることを言ってあなたを不愉快にさせたりあなたや誰かを身体的に傷付けたりしますか？(他人なら誰か教えてください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
17. 他に誰かあなたを脅す人やあなたの恐れる人はいますか？(いるなら、誰か、またなぜか教えてください。HBVの場合は拡大家族に拡げてください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
18. (加害者)が誰かを怪我させたか知っていますか？(誰か教えてください。子供、兄弟、高齢の家族なども含め。HBVも考慮) 子供 <input type="checkbox"/> 他の家族 <input type="checkbox"/> 以前関係のあった誰か <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19. (加害者)は動物やペットを虐待したことがありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20. 金銭的問題はありますか？例えば、金銭的に(加害者)に依存していますか？(加害者)は最近失業しましたか？それ以外の金銭的問題は？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
21. (加害者)はこの1年間に薬(処方薬その他)、アルコール、精神衛生で問題を抱えて日常生活が困難になったことがありますか？(はいの場合どれか選び、ご存じなら説明してください) 薬 <input type="checkbox"/> アルコール <input type="checkbox"/> 精神衛生 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
22. (加害者)は自殺の恐れがあるか、または自殺未遂を起こしたことがありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
23. (加害者)は今まで保釈や禁止命令、またはあなたや子供との面会に際しての正式合意を破ったことがありますか？(可能ならば加害者の元パートナーとしての立場で考えたいかも知れません) 保釈条件 <input type="checkbox"/> 性的虐待・同居禁止命令 <input type="checkbox"/> 子供接触協定 <input type="checkbox"/> 強制結婚保護命令 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
24. (加害者)が以前警察沙汰を起こしたことがあるか、犯罪歴があるか知っていますか？(はいの場合選択してください) DV <input type="checkbox"/> 性的暴力 <input type="checkbox"/> その他の暴力 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「はい」の回答数				

被害者名：

日付：

完成書類は機密

専門家による検討用：何か（被害者か専門家から）リスク水準を高める情報はありますか？ 被害者の状況を考慮してください。障害、薬物乱用、精神衛生問題、文化的・言語障壁、「名誉」を重視する風習、地理的な隔離状況や最小化など。被害者はあなたのサービスに参加する意思はありますか？

虐待者の職業・興味について — 独自に武器を手に入れられますか？

被害者の安全を確保するために、被害者にとって何が最重要ですか？

この案件を MARAC に照会するに十分な根拠がありますか？ はい / いいえ

はいの場合、照会済みですか？ はい / いいえ

署名：

日付：

家庭の子供がリスクにさらされていますか？ はい / いいえ

はいの場合、子供を保護するために照会したかどうか確認してください。はい / いいえ

照会日 _____

署名：

日付：

氏名：

医師コメント

--

5. MARAC 照会フォーム

MARAC 照会はセキュアな電子メール、またはその他のセキュアな方法で送付すること。

照会機関					
担当者名					
電話・メール					
日付					
被害者名			被害者の 生年月日		
住所			多様性データ (分かる場合)		
住所			多様性データ (分かる場合) B&ME <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> LGBT <input type="checkbox"/> 性別 (男/女)		
電話番号			電話しても 安全?	はい / いいえ	
コンタクトに関する情報を記入 (電話する時間など)					
加害者名			加害者の 生年月日		
加害者住所			被害者との 関係		
子供	生年月日	被害者との 関係	加害者との 関係	住所	学校 (分かる場合)

照会理由・補足情報

専門家判定	あり / なし	明らかな高リスク (CAADA-DASH RIC で 14 個以上該当)	はい / いいえ
エスカレートの可能性 (最近 12 ヶ月間に警察通報 3 回以上)	あり / なし	MARAC 繰り返し (最後の MARAC 照会から 12 ヶ月以内に事件発覚)	はい / いいえ
ありの場合、受領日と件数を記入 (分かる場合)			
被害者は MARAC 照会を知っている	はい / いいえ	知らない場合は理由	
同意を得ているか?	はい / いいえ		
被害者は誰を恐れているか? (第一加害者だけでなく脅威と考えられるものをすべて記入)			
被害者が安心して話せる人は誰か?			
被害者が安心して話せない人は誰か?			
被害者は他の MARAC に照会されたことがあるか?	はい / いいえ	はいの場合、いつ どこで?	

6. MARAC 調査フォーム

名前・機関	
電話・メール	
日付	

被害者名		被害者生年月日	
被害者名・生年月日			
被害者住所			
MARAC 案件番号 (アジェンダから)			

		変更・訂正・その他の情報 (別名・ニックネームなど) を下に記入
MARAC リストの被害者 情報は正確ですか?	はい / いいえ	
MARAC リストの子供情 報は正確ですか?	はい / いいえ	
MARAC リストの加害者 情報は正確ですか?	はい / いいえ	

最後の目撃、会合、電話の記録について記入し てください	
最近の態度、行動、品行について、変化を含め て記入してください	
チェックリストのリスク指標に関する情報を説 明してください (虐待パターン、隔離、エスカ レート、被害者の恐怖増大など)	
その他の情報 (被害者安全のために機関が取っ た行動など)	
被害者の安全にとって最重要事項は何か?	
被害者は誰を怖がっているか? 第一加害者だ けでなく脅威をすべて記入してください	
被害者が安心して話せる人は誰か?	
被害者が安心して話せない人は誰か?	

CAADA-DASH MARAC リスク評価チェックリスト(RIC)

高リスクの家庭内暴力、ストーキングおよび「名誉」を理由とする暴力の特定用¹

この文書の内容は、リスク評価チェックリスト、虐待深刻度表、および IDVA の業務ガイダンスである。

公認:



¹ 本文書は、CAADA が ACPO のコンサルタント暴力アドバイザー、ローラ・リチャーズの協力の下で実施した作業を反映している。改訂版チェックリストの試験運用については、アドバンス・ブラックバーンウィズダーウエン女性支援局とパークシャー東部家族安全局、およびブラックプール MARAC のパートナー全員が貢献してくれたことに感謝申し上げる。この協力がなければ、オリジナルの CAADA リスク評価チェックリストを修正することはできなかった。Cafcass のエリザベス・ホールと Respect のニール・ブラックロックからの助言と激励には特に感謝したい。また、ジャン・ピクルス、アマンダ・ロビンソン博士、ジェームズ・ローランド、およびジャスピンダー・サンゲラからの専門的情報にも感謝する。最後に、虐待深刻度表の複製に同意して下さったヘスティア・ファンドに謝意を伝えたい。

CAADA-DASH リスク評価チェックリスト(RIC)

フォームの目的

- 現場の医師が高リスクの家庭内暴力、ストーキングまたは「名誉」を理由とする暴力の案件を発見しやすくする。
- どの案件を MARAC に照会するか、他部門のどのような支援が必要か判断する。完成されたフォームは活動の記録となり、将来の案件管理で参照できる。
- MARAC²プロセスに参加する機関が使える共通のツールとして、家庭内暴力、ストーキングおよび「名誉」を理由とする暴力に関わるリスクの共通理解を形成する。
- 機関が家庭内殺人や「ニアミス」など、案件の詳細調査で得られた証拠をもとに防衛措置を決断する。これは広く認識されているリスクアセスメントのモデルの根拠である。

フォームの使用法

初めの場合、このフォームを完成させる前に、完全実用ガイドとよくある質問と回答³を読むことを推奨する。これらは http://www.caada.org.uk/marac/RIC_for_MARAC.html からダウンロードできる。リスクは揺れ動くもので、短期間に変化することもある。新たな案件の後にチェックリストを見直すといよい。

推奨される MARAC 照会基準

1. **専門家の判断**: 専門家が被害者の状況に深刻な懸念を抱いている場合は、MARAC に照会すべきである。案件によっては、特殊な状況の中で、被害者が高リスクを明確に示す情報を開示していない場合でも、深刻な懸念がある場合もある。特に「名誉」を理由とする暴力においては、極度の恐怖、開示に対する文化的障壁、移民問題や言語障壁などが関わっていることが多い。判断は、以下の基準 2 や 3 を満たしていなくても、専門家の経験と被害者のリスク認識に基づいて行う。
2. 「**明らかな高リスク**」: チェックリストでチェックされた項目の数。「はい」が 14 個以上チェックされた場合は、基本的に MARAC 照会基準を満たしていることになる。
3. **エスカレートの可能性**: この 12 ヶ月間に家庭内暴力で被害者が警察に連絡した回数。この基準は、リストに記されたリスク要因の多くが明確にならないものの、虐待がエスカレートしていて、MARAC で情報を共有することで状況をより明確に確認した方がよいことを示すものである。12 ヶ月間に 3 回以上警察への通報があった場合に考えるのが普通だが、回数については現地の案件数や警察への報告のレベルを考慮して見直す必要がある。

どんなケースでも、医師の専門的判断を尊重すること。チェックリストの結果は決定的なリスクアセスメントとはならない。チェックリストはあなたの判断を知らせるための枠組みで、MARAC などの仕組みの中でさらに深い質問、分析およびリスク管理を促すものとして使われる。

現地の照会基準を明確化する責任は現地の MARAC にある。

このフォームの対象にならないこと

このフォームは子供の直面するリスクについても有益な情報となるが、子供のリスクアセスメントとして完全ではない。子供がいると、家庭内暴力のリスクは拡大し、特に継子のさらされるリスクは大きい。子供へのリスクが問題の場合は、子供の状況を完全に把握するためにどのような照会が必要か検討すること。

² MARAC について詳しくは、MARAC10 原則を参照のこと。 http://www.caada.org.uk/marac/10_Principles_Oct_2011_full.doc

³ このフォームを使用してのトレーニングについては、training@caada.org.uk まで電子メールで問い合わせるか、または 0117 317 8750 まで電話で連絡する。